

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～C組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店『新編 現代の国語 改訂版』）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読						
1 学 期	A 単元 1 ことばをひらく 【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解している。〔2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材「コミュニケーションは技術だ」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解している。〔2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B 単元 1 ことばをひらく 【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解している。〔2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材「「変わる」ことを楽しもう」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解している。〔2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	10
	中間考査						○	○	○	1
C 単元 5 論理を読み取る 【知識及び技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。〔1)カ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	・指導事項 ・教材「水の東西」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。〔1)カ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	19	
定期考査						○	○	○	1	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組・ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京法令出版 公共新訂版 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとなる概念や理論及び、倫理、政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に調べられる技能を身に付けさせる。	現実世界の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。また、構想したことを発表する力を養う。	より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通じて、他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結びつくことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを、多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ①社会のなかの私たち ②日本の文化と社会 ③青年期とは ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点をを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1
A 「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通じて、他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結びつくことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを、多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ④自己形成の課題 ⑤ライフ・キャリアの形成 ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点をを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	11
A 「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通じて他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結びつくことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ⑥社会の多様性 ⑦宗教と文化 ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点をを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>B 単元「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」</p> <p>【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得のできる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 課題の追求や解決する活動に対し主体的に参加し、他者の意見を受容的態度で傾聴している。</p>	<p>・指導事項 ①幸福とは ②自由とは ③正義とは ④公正とは ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 哲学者の考え方の共通点や相違点を適切に理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 思考実験などを用いて、自己の意見と他者の意見を融合させ、新たな考察をする活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幸福・自由・正義・公正といった人によって答えが異なる概念に対し、自分の考えを導くことを主体的に行っている。</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	<p>C 単元「公共的な空間における基本原理と日本国憲法」</p> <p>【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本原理について考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊重や平等な基本原理などについて理解し、考察する態度を身に付ける。</p>	<p>・指導事項 ①人間の尊厳と平等 ②民主政治と国民権 ③消極的自由と公共の福祉 ④積極的自由と義務 ⑤法の支配と人権保障 ⑥平和主義 ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務が日本国憲法のどこに根拠として記されているか理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本国憲法で人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務が記されている理由を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理が日本国憲法とどのように関連しているかを主体的に考えている。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	<p>D 単元「日本の政治機構と政治参加」</p> <p>【知識及び技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治機構と政治参加について幸福・自由・公正・正義などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。</p>	<p>・指導事項 「日本の政治機構と政治参加」 ①法の機能と限界 ②国会の運営と権限 ③内閣と行政の民主化 ④世界の政治体制 ⑤裁判所と人権保障 ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割、地方自治制度や国民の政治参加のあり方についての知識を正しく理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の政治機構と政治参加について現在の政治状況を踏まえて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ニュース等で知った情報を学習内容に結びつけようとしている。</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
合計							78

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

数学 科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書：（改訂版 新 高校の数学 I（数研出版））

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 学			配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式の計算 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におきかえたりするなどして、既に学習した計算の方法と関連付けて、処理する力を養う。 次に、中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。また、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	1. 計算の基本	【知識・技能】 ○正の数、負の数の加法、減法、乗法の計算ができる。 ○分数の計算ができる。 ○四則の混じった計算の優先順位にしたがって計算できる。 【思考・判断・表現】 ○四則が混じった計算の優先順位を正確に判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○これからの学習の基礎となる数の計算方法に関心を持ち、積極的に習得しようとする。	○	○	○	3
		2. 単項式と多項式	【知識・技能】 ○文字を使った式で数量を表すことの必要性を理解している。 ○単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語を理解している。 ○多項式の同類項をまとめ、次数の大きい順に整理することができる。 【思考・判断・表現】 ○ある数量について、文字を使った式で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、考察しようとする。	○	○	○	4
		3. 多項式の加法と減法	【知識・技能】 ○多項式の加法、減法の計算ができる。	○			3
	定期考査			○	○	○	1
		4. 多項式の乗法	【知識・技能】 ○指数法則を理解し、単項式の乗法の計算ができる。 ○指数法則や分配法則を用いて、多項式の乗法の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ○式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心を持ち、考察しようとする。	○	○	○	4
		5. 展開の公式	【知識・技能】 ○展開の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 ○展開の公式の導き方を、面積図を使って考察することができる。	○	○		3
		6. 因数分解	【知識・技能】 ○共通因数をみつけ、共通因数のくくり出しができる。 ○因数分解の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 ○たすき掛けの仕組みを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	○	○	○	5
	7. 展開、因数分解の工夫	【知識・技能】 ○文字のおきかえを利用して、展開や因数分解を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ○文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようになることを見通せる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○おきかえなどの工夫によって、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	3	
定期考査			○	○	○	1	

2 学 期		8. 根号を含む式の計算	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平方根の意味を理解している。 ○根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。 ○分母を有理化することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○根号を含む式の乗法の計算に、展開の公式を適用することができる。 	○	○		5
		9. 実数	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 ○小数で表したときの特徴から、分数を有限小数と循環小数に分類することができる。 ○絶対値の意味と記号表示を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実数を数直線上の点の座標として考察することができる。 ○実数の絶対値を、数直線上で原点からの距離として考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。 	○	○	○	2
	第2節 1次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	1. 1次方程式	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○方程式における解の意味を理解し、1次方程式を解くことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の問題を解決するのに、1次方程式を活用することができる。 	○	○		2
		2. 不等式	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不等号の意味を理解している。 ○不等式が値の範囲を表すことを理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。 ○不等式の性質を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数量の大小関係を式で表現することができる。 ○不等式の性質を、数直線上の点と対応させて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不等式の性質について、等式の性質と比較して考察しようとする。 	○	○	○	3
		3. 不等式の解	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ○連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不等式の性質を基に、1次不等式を解く方法を考察することができる。 ○日常の問題を解決するのに、1次不等式を活用することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。 	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ 2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	1. 関数	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関数について理解している。 ○関数の値を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2つの数量の関係を関数の式で表現することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の事象の中に関数を見つけようとする。 	○	○	○	2
		2. 1次関数のグラフ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○座標について理解している。 ○対応表を利用して、1次関数のグラフをかくことができる。 ○傾きと切片に着目して、1次関数のグラフをかくことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関数を表、式、グラフによって考察することができる。 ○$y=ax+b$のグラフを$y=ax$のグラフをy軸方向に平行移動したものとみて考察することができる。 	○	○		2

高等学校 令和8年度（1学年） 教科

理科

科目 科学と人間生活

教科：理科

科目：科学と人間生活

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～

C組

教科担当者：

使用教科書：（数研出版 科人104-901 『改訂版 科学と人間生活』）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解できている。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付ける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
<p>中学校の復習 力のはたらき</p> <p>【知識及び技能】 力についての基礎的な概念や原理・法則などを理解できているとともに、力とばねの伸びの関係をグラフ化したり、2力のつり合う条件について科学的に解釈したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 力のはたらきによって起こる現象の要因や規則性を考察したり、実験結果や考察などをほかの人に伝えることを意識して表現したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習内容に興味や関心を持ち、粘り強く実験し、科学的法則を生活に生かそうとする態度、実験の過程を振り返って評価しようとする態度を身に付ける。</p>	<p>【指導事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身近に生じるさまざまな力 2. 重力と重さ、質量の違い 3. 力の作図 4. つりあう2つの力の関係 5. ばねに生じる力と伸びの関係 6. 圧力（大気圧・水圧） <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・授業プリント ・一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばねばかりを使って重力の大きさを調べることができる。 ・ばねの伸びと力の大きさ（物体の重さ）の関係をグラフ化することができる。 ・力を矢印を使って表すことができる。 ・2力のつり合いを矢印を使って表すことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体が力を受けているときに見られる現象を説明できる。 ・ばねの伸びと力の大きさ（物体の重さ）についての実験結果から比例関係を見出すことができる。 ・2力がつり合う時の条件を説明することができる。 ・身近な力について調べたものを自分なりに記述することができる。 ・「質量」と「重さ」の概念を説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考えた方法で、未知の物質 X の重さを粘り強く求めようとしている。 ・ばねの伸びの測定やグラフの正確性を検討、改善しようとしている。 ・身近にはどのような力があるか考え、ICT など活用して調べようとしている。 	○	○	○	7
<p>序章 科学技術の発展</p> <p>【知識及び技能】 灯り、通信、交通、コンピュータ、農業、食品、医療、防災、エネルギーの歴史について時系列的に理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にしてきたことや人間生活に不可欠であることを理解できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展の歴史について関心を持ち、自ら調べ学ぶ態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報伝達技術の発展 2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3. 医療技術の発展 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・授業プリント ・一人1台端末 	<p>【知識・技能】 灯り、通信、交通、コンピュータ、農業、食品、医療、防災、エネルギーの歴史について時系列的に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にしてきたことや人間生活に不可欠であることを理解できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展の歴史について、意欲的に理解しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>1 学 期</p> <p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>材料とその利用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄、銅、アルミニウムの性質、用途、製錬の方法について理解できている。 ・金属の腐食（さび）のしくみと、その防止について理解できている。 ・プラスチックが、単量体が重合してできる高分子化合物であることを理解できている。 ・プラスチックの化学構造について理解し、燃焼により生じる物質について理解できている。 ・身のまわりのプラスチックの利用例について理解できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属が性質を示すしくみや金属結合による構造について、自由電子と関連させて説明できる。 ・鉄・銅・アルミニウムの用途について、各金属の性質と関連させて説明できる。 ・金属がさびるしくみについて、金属のイオンになりやすさと関連して考察できる。 ・プラスチックの用途について、プラスチックの性質と関連させて説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料とその再利用について学習した内容を、日常生活における身近な製品や環境問題などと結びつけ、意欲的に理解しようとしている。 	<p>【指導事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラスチックの特徴 2. プラスチックの分類と用途(1) 3. プラスチックの分類と用途(2) 4. さまざまなプラスチック 5. 金属と人間生活 6. 金属とその製錬 7. 金属のさびと合金 8. 資源の再利用 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・授業プリント ・一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄について、その性質や製錬方法、利用法などについて理解している。 ・プラスチックやその原料となる物質は、おもに炭素原子と水素原子からなる有機物であることの知識を身につけている。 ・高吸水性樹脂、導電性樹脂、光透過性樹脂、生分解性プラスチックなどの新しいプラスチックの性質や用途について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの性質と用途について、実験・観察などを通して科学的に思考できる。熱に対する性質を調べることによって、プラスチックを熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂に分類することができる。 ・アルミニウムと銅について、その性質や製錬方法、利用法などを、実験・観察を通して科学的に理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 ・資源の再利用方法に関心を抱き、特にプラスチックがどのように再利用されているかを理解している。金属とガラスの再利用を学び、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身につけている。 	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○	○	1

2 学 期	<p>微生物とその利用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの身のまわりには無数の微生物が存在することを実験を通して理解できている。 微生物には特徴の異なるさまざまな生物が含まれることを理解できている。 目に見えない微生物の存在を認識するに至った科学史を理解できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発酵食品の生産には微生物が利用されることを、食品中の微生物の観察を通して考えさせる。 乳酸発酵とアルコール発酵が起こる際の反応を理解できているとともに、それぞれを利用してつくられる発酵食品について学習させる。 ワクチンや抗生物質などがどのような物質であるのかを理解できているとともに、それらの医薬品の生産に微生物が利用されていることを学習させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分解者としての微生物のはたらきを理解できている。 炭素や窒素の循環の概要とそれに関わる微生物の役割を理解できている。 微生物による分解によって自然浄化が行われていることや、微生物の分解能力を利用した浄化が試されていることを学習させる。 	<p>【指導事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 身のまわりの微生物 微生物とその発見の歴史 発酵食品への微生物の利用 乳酸発酵とアルコール発酵 医薬品への微生物の利用 生態系における微生物 環境の浄化と微生物 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微生物の生息場所や種類について理解できている。 微生物に関わる一連の科学史を理解できている。 発酵および発酵食品について理解できている。 乳酸発酵およびアルコール発酵について理解できている。 ワクチンや抗生物質などの医薬品の製造に微生物が関わっていることを理解できている。 炭素循環と窒素循環に微生物が関わっていることを理解できている。 汚水や環境の浄化に微生物が利用されていることを理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微生物を培養する実験から、微生物が生息する場所について考察できる。 微生物の科学史についての学習を通して、目に見えない微生物を調べる方法について考察できる。 発酵食品に含まれる微生物の観察を通して、発酵食品と微生物との関わりについて考察できる。 アルコール発酵の実験を通して、アルコール発酵の反応について説明できる。 土壌中の微生物を確認する実験を通して、生態系における微生物の役割を説明できる。 活性汚泥の観察を通して、下水処理のしくみについて説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとしている。 	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>熱の性質とその利用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度は何を表すものなのか理解できている。 熱量と比熱について理解できている。 電力量と電力の定義について学習させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体をつくる粒子が熱運動をしていることを、実験を通して理解できている。 熱伝導、対流、熱放射では、それぞれどのように熱が伝わるのか理解できている。 物質の三態、融解熱・蒸発熱について、物質をつくる粒子に着目して理解できている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーに関心を持ち、さまざまな種類に分類し考えさせる。 可逆変化と不可逆変化は、それぞれどのような変化なのか考えさせる。 どのような方法で電力を生み出しているか考えさせる。 	<p>【指導事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 温度と熱運動 熱量・比熱 熱の伝わり方 仕事や電流と熱の発生エネルギー 移り変わり 熱エネルギーの利用 エネルギー資源の利用 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> セルシウス温度と絶対温度について理解できている。 熱平衡とはどのような状態か理解できている。 熱量の保存について実験を通して、理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーは相互に変換されることを実験を通して考えている。 仕事による熱の発生について、実験を通して考えている。 ジュールの実験にも触れ、仕事と熱量が比例関係にあることを説明できる。 電流の仕事により熱が発生することと、その発熱量はジュールの法則に従うことを説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱機関について、実験を通して主体的に学び、得た熱量のすべてを仕事に変えることはできないことを説明しようとしている。 複合サイクル方式やコージェネレーションシステムなど、エネルギーを効率的に利用する技術があることを深く調べ、まとめようとしている。 	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>自然景観と自然災害</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震発生のしくみを理解する。 火山噴火のしくみについて理解する。 マグニチュードと震度の違いを理解する。 風化、侵食、運搬の3作用を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> マグマの性質と溶岩の噴出量によって、火山の大きさや形が変化することを学習させる。 火山活動によって引き起こされる災害について学習させる。 ハザードマップを作成する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 風化・侵食・運搬の作用によって、山地、河川ぞい、平野ではそれぞれ特徴的な地形が形成されることを理解しようとする。 土砂災害を引き起こす現象の種類と危険性の高い地形との関係について理解しようとする。 	<p>【指導事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本列島とプレート 地震のしくみと地震活動 地震による災害 マグマがつくる火山と景観 火山がもたらす恵みと災害 水のはたらきと自然景観 土砂災害と洪水 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震発生のしくみを理解できている。 火山噴火のしくみについて理解できている。 マグニチュードと震度の違いを理解できている。 風化、侵食、運搬の3作用を理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本列島がプレート境界に位置することから、プレート境界に沿って多くの地震が発生することを説明できる。 プレートの運動によって高くなった山は、流れる水のはたらきによって低くなることを理解できている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震によって発生する災害やその危険性について、意欲的に考えようとしている。 火山は災害を引き起こすだけではなく、温泉や鉱物資源など私たちの生活に恵みをもたらしていることを理解しようとしている。 	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>課題研究</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>自然や生活の中から疑問を発見させ、そのテーマについて調べていく方法を学ばせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>調べたことをまとめ、発表する技術と方法を学ばせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分の考えを相手に正しく効果的に伝えることの大切さを考えさせる。</p>	<p>【指導事項】</p> <p>各自、時事的な科学トピックを課題研究し、クラス発表する。</p> <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>自然や生活の中から疑問を発見し、そのテーマについて調べ、深く理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>知りえた情報をわかりやすく整理し、原稿にまとめることができる。また、他者に簡潔に説明し、内容を効果的に伝えることができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分の課題に対し、関心を持って調べ、課題解決に向け意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
合計							78

足立 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組・C 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育 改訂版）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 体づくり運動(体ほぐしの運動)</p> <p>【知識および技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状況に気づき、仲間と積極的に関わり合うことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするなど、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとするなど、話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>	<p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすること。②大きくリズムカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばししたりすること。③いろいろなフォームで様々な用具を用いて、タイミングよく跳んだり、転がしたりすること。④自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりすること。</p>	<p>【知識・技能】 ①体づくり運動のうち、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、理解したことを言ったり、書き出ししたりしている。②体づくり運動のうち、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、理解したことを言ったり、書き出ししたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気づく」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。②学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。②仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>C 陸上競技(短距離走、長距離走)</p> <p>【知識および技能】 クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができるようにする。 ペースを守り、一定の距離を走ることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 掲示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の学習に積極的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速すること。②ペースを守り、一定の距離を走ること。</p>	<p>【知識・技能】 ①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。②腕に余分な力を入れず、リラックスして走ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①掲示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
<p>H 体育理論</p> <p>【知識および技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>①技術と技能の言葉の意味の違いを知ること。②戦術と戦略という言葉の意味の違いを知ること。③技能が上達してゆく過程には3つの学習段階があること。④体の動きはどのような仕組みで開始され、維持してゆくかを知ること。⑤スポーツなどで上手・下手があるのはなぜかを知ること。⑥体力と技能には関係性があること。</p>	<p>【知識・技能】 ①運動やスポーツの技術について理解したことを言ったり書きだしたりしている。②運動やスポーツの技術の上達について、理解したことを言ったり書きだしたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分類したり、まとめたりするなど判断し、説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、(事例などを用いたディスカッションや課題学習など)活動などを通して、学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6

1・2・3 学期	E 球技(ネット型・バレーボール)	<p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①レシーブやトスなどでボールをコントロールすること。②サーブを狙ったところに入れること。③練習やゲームでボールを狙ったチームメイトにつなぐこと。④基本的な技能を身に付け、攻防を展開すること。</p>	<p>【知識・技能】 ①バレーボールにおいて用いられる技術や戦術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて言ったり書き出したりしている。②味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。③相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。④相手側のコートにボールを返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	29
	実技テスト				○	○	○	2
1・2・3 学期	E 球技(ネット型・バドミントン)	<p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サービスでは、シャトルをねらった場所に打つこと。②シャトルを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身に付けるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	29
	実技テスト				○	○	○	2
合計								
78								

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ MOUSA 1 (教芸出版) ）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現をしたり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現するための技能として、まず楽譜を読む力を養い、その知識を具体的に表現できる力を身に付ける。	より良い表現・自分がやりたい表現をめざして試行錯誤する中で他人の表現を鑑賞したり修正をしながら自分の表現を完成させていく。	今までの自分の愛好する音楽だけではなく、自分の中の引き出しを増やし、いろいろな種類の音楽に興味を持てるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数	
		歌	器	創							
1 学 期	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。	・斉唱 翼をください 負けないで 等 ・一人一人の距離を取りながら 自信をもってはっきりと声を出す。	○		○	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8	
	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾く。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・指の使い方に気を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現を鑑賞する。	・キーボードの演奏 ・教材 翼をください 他 ・音符を読んでメロディーを演奏する。 ・伴奏と合わせる。		○	○	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・指の使い方を工夫しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現をまじめに鑑賞できるか。	○	○	○	12	
	C 楽典 【知識及び技能】 音符の長さや高さを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 譜面を読み解く力を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。	・読譜指導 音符の高さ・長さを理解する。 リズムを理解し、自分で創作する。 ・教材 教科書の楽典ページ プリント DVD教材			○	C 楽典 【知識及び技能】 音符の長さや高さを理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 譜面を読み解く力が付いたか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	7	
2 学 期	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。	・合唱 涙そうそう 未来へ ひこうき雲 等 ・一人一人の距離を取りながら 自信をもってはっきりと声を出す。他のパートの声を聴きながら歌う。	○		○	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか 他パートの声を聞いているか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	15	
	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾く。 【思考力、判断力、表現力等】 指の使い方に気を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現を鑑賞する。	・ギターの演奏 ・教材 喜びの歌 夢の中へ 他 ・音符を読んでメロディーを演奏する。 コード表を読み、伴奏ができるようにする。 自分なりのアレンジを加える。		○	○	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】 指の使い方を工夫しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現をまじめに鑑賞できるか。	○	○	○	18	
3 学 期	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。	・斉唱 ひまわりの約束 メモリー 等 ・一人一人の距離を取りながら 自信をもってはっきりと声を出す。	○		○	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	7	
	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見る。 【思考力、判断力、表現力等】 人の音を聞きながら自分のタイミングを合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現を鑑賞する。	・トーンチャイムの演奏 ・教材 ホールニューワールド 他 ・音符を読んで自分の分担音を演奏する。 ・伴奏と合わせる。		○	○	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】 人の音とタイミングを合わせられるか。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現をまじめに鑑賞できるか。	○	○	○	11	
										合計	78

足立 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 光村図書 美術 1

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的にあらわすことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 画						
<p>A 題材 観察力を身につけよう (鉛筆デッサン)</p> <p>【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求し表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 ○鉛筆グラデーションの練習(明暗) ○鉛筆デッサン(質感・立体感・形) ・教材 ○鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品 ・書画カメラ</p>	○				【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求しあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができている。	○	○	○	14
<p>1 学期</p> <p>B 題材 色や形で感情を表現しよう (モダンテクニック)</p> <p>【知識及び技能】 ・モダンテクニックについての各技法についての知識・理解を深める。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。</p>	<p>・指導事項 ○モダンテクニックの各技法の演習(ドリップング、デカルコマニー、フロッターージュ、ウェット・イン・ウェット、スクラッチ、バチック) ・教材 ○鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品、アクリルガッシュ、クレヨン、のり等描画用具 ・書画カメラ</p>	○	○	○		【知識及び技能】 ・モダンテクニックについての各技法についての知識・理解を深めることができている。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組んでいる。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化することができる。	○	○	○	13
<p>C 題材 本物そっくりに挑戦 (張り子)</p> <p>【知識及び技能】 ・張り子について、その成り立ちや歴史を知り、その表現を理解する。 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 ○張り子の制作 ○石のスケッチ ○アクリルガッシュの使い方 ・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、アクリルガッシュ、のり、色鉛筆、カッター、和紙など ・書画カメラ</p>	○				【知識及び技能】 ・張り子について、その成り立ちや歴史を知り、その表現を理解している。 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、主題を追求して創造的にあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	19

2 学期	<p>D 題材 LINEスタンプをつくろう (デザイン)</p> <p>【知識及び技能】 ・LINEスタンプについて成り立ちを知り、その効果を理解する。 ・形や色などが感情にもたらす効果や、全体のイメージや造形的な特徴・作風などでデザインを捉えることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果やわかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。</p>	<p>・指導事項 ○LINEスタンプのデザイン</p> <p>・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、画用紙、ペン、色鉛筆など</p> <p>・書画カメラ</p>					<p>【知識及び技能】 ・LINEスタンプについて成り立ちを知り、その効果を理解している。 ・形や色などが感情にもたらす効果や、全体のイメージや造形的な特徴・作風などでデザインを捉えることを理解することができている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果やわかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組むことができている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化することができている。</p>				14
3 学期	<p>E 題材 有名な作品を深く理解しよう (模写) (鑑賞)</p> <p>【知識及び技能】 ・グリッド転写の技法を理解し、主題を追求しあわわしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・模写の制作から、作者の表現意図や工夫を感じ取り、作品制作に生かしている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作者の生涯・心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に作品を見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ○模写の制作 ○グリッド転写 ○鑑賞 ○アクリルガッシュの使い方</p> <p>・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、アクリルガッシュ、教科書など</p> <p>・書画カメラ</p>					<p>【知識及び技能】 ・グリッド転写の技法を理解し、主題を追求しあわわすることができている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・模写の制作から、作者の表現意図や工夫を感じ取り、作品制作に生かすことができている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作者の生涯・心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に作品を見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組むことができている。</p>				18
合計											78

足立 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術（書道） 科目 書道 I

教科： 芸術（書道） 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 光村図書 書 I ）

教科 書道 I の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わったり捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
A 書写から書道へ 【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 ・臨書・鑑賞・創作の理解 ・用具用材の理解 ・それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈				○	○				6
B 文字の造形を学ぶ【楷書】 【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書風の違いを理解させる。 ・九成宮醜泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて ・牛欄造像記 ・鄭羲下碑 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品				○	○				10
C 古典を生かした創作 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○指導事項 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、字書				○	○				11

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者：

使用教科書：（三省堂 Vista English Communication I New Edition ）

教科 外国語（英語） の目標：

- 【知識及び技能】 外国語特有の音声・アクセントや語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。これらの知識を、聞く、読む、話す、書くことに用いて実際のコミュニケーションの場で目的や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。聞き手、読み手、話し手、書き手に伝えようと主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		聞	読	話 「や」	話 「発」	書					
Get Ready 1～3 【知識及び技能】 アルファベット、単語を正しく読んで書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 辞書を引く際、単語の意味を予想しながら引くことができる。教室内英会話を使い、他者とやり取りをする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に会話活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努める。	・指導事項 ○アルファベット・単語の書き方の復習 ○英語の学習用辞書引き ○教室内での英会話	○	○	○	○	○		○	○	○	10
1 のちゃんの英文法 【知識及び技能】 中学校英文法の基礎を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本パターンを用いながら、自分自身の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の考えを発信する。また周りの生徒は発表者の意見や考えを共有する。	・指導事項 ○中学校における英文法の基礎の確認 ○基本フレーズを用いた自分のことに関する発表	○	○		○	○		○	○	○	9
Pre-Lesson 1 : Hello, Kai! Hi, Emma! Pre-Lesson 2 I love Manga! 【知識及び技能】 be動詞や一般動詞の現在形を用いて文の書きかえができる。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の出身地や住んでいる町、好きなマンガなど、身近なことを紹介する中で、自分と他者の結びつきについて英語で考え、表現する力を育む。	・指導事項 ○be動詞、一般動詞の現在形 ○be動詞、一般動詞の現在形の書き換え ○be動詞、一般動詞の現在形の疑問文と答え方、否定文	○	○	○	○	○		○	○	○	7
定期考査（期末）		○	○			○		○	○	○	1

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

情報 科目 情報 I

教科： 情報

科目： 情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組

教科担当者：

使用教科書：（ 新編 情報 I（東京書籍） ）

教科 情報

の目標：

- 【知識及び技能】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等を理解する。情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付ける。

科目 情報 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	情報で問題を解決する 【知識及び技能】 情報社会の発展の要因となる技術の進歩とそれに伴う生活の変化を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい情報社会に向かうために必要なこと、物を考え、主体的に情報社会に参画する態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の流れを把握し、自ら問題を発見する力を育む。	・指導事項「教科書第1章 情報で問題を解決する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人1台端末の活用方法 「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 情報とメディアの特性を理解する。Society5.0とその出現の背景を理解する。情報モラルを身に付ける。知的財産権等の権利を理解する。 【思考・判断・表現】 問題解決の方法を知り、実践できる。情報社会に望ましいルールとマナーを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会に興味を持ち、自ら知識を取り入れようとしている。	○	○	○	12
	コンピュータに触れる・慣れる 【知識及び技能】 コンピュータとは何か、どのような仕組みかを理解し、操作できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい情報社会に向かうために必要なこと、物を考え、主体的に情報社会に参画する態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の流れを把握し、自ら問題を発見する力を育む。	・指導事項「教科書第1章 情報で問題を解決する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人1台端末の活用方法 「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 コンピュータの部位や機能について理解している。 コンピュータの操作を行うことができる。 【思考・判断・表現】 コンピュータを用いて自身の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら問題点を発見できる。問題解決のための行動を自発的に起こせる。作成・実施後の振り返りを実施できる。	○	○	○	14
	1学期のまとめ			○	○	○	1
2 学期	コンピュータを活用する 【知識及び技能】 プログラムの動作の仕組みとアルゴリズムによる表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムの基本構造を把握し、実際にプログラムを作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 デバッグなどを通して自ら問題を見つけ、解決する。	・指導事項「教科書第3章 コンピュータを活用する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人1台端末の活用方法 「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 プログラムが命令とデータでできているものであることを認識する。論理回路による簡単な演算ができる。フローチャートを実際に書くことができる。 【思考・判断・表現】 変数、順次処理、条件分岐、繰り返しの概念を理解し、プログラムとして表現できる。簡単なモデル化を実行できる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラムに興味を持ち、自ら知識を取り入れようとしている。	○	○	○	32
	2学期のまとめ			○	○	○	1
3 学期	データを活用する 【知識及び技能】 ネットワークの基礎的な仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データベースの仕組みを理解し、データの分析・活用に応用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の主張に合わせて必要なデータを探し、選ぶことができる。	・指導事項「教科書第4章 データを活用する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人1台端末の活用方法 「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 プロトコルの概念と、TCP/IPを理解できる。 データ種別とデータモデルについて理解する。 【思考・判断・表現】 データ分析をグラフ化等により実施できる。 データの解釈を行い、より正確なデータ分析が実施できる。 【学びに向かう力、人間性等】 分析したい事柄によってどのようなデータを使用するか考え、適切に選ぶことができる。	○	○	○	17
	1年のまとめ			○	○	○	1
				○	○	○	合計 78

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A組～C組

教科担当者：

使用教科書：（なし）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

- 【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	A 単元「独自のテーマを探究し発表する」 【知識及び技能】 ・自らが設定したテーマについて一人1台端末を使用して必要な情報を得ようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組もうとしている。	指導事項 ・探究したいテーマを見つける ・一人1台端末を利用し必要な情報を収集する ・収集した情報をプレゼンテーション用ソフトでまとめ発表する 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・自らが設定したテーマについて一人1台端末を使用して必要な情報を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思考を巡らせ、探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組むことができる。	○	○	○	13
2 学期	B 単元「グループでテーマを探究し発表する」 【知識及び技能】 ・グループで設定したテーマについて一人1台端末を使用して必要な情報を得ようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組もうとしている。 ・グループにおける役割を果たそうとしている。	指導事項 ・探究したいテーマを見つける ・一人1台端末を利用し必要な情報を収集する ・収集した情報をプレゼンテーション用ソフトでまとめグループで発表する 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・グループ設定したテーマについて一人1台端末を使用して必要な情報を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思考を巡らせ、探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組むことができる。 ・グループにおける役割を果たすことができる。	○	○	○	17
3 学期	C 単元「自分自身を探究し自己理解を深める」 【知識及び技能】 ・自らが設定したテーマについて一人1台端末を使用したり、書籍などを利用したりして必要な情報を得ようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組む自己理解を深めようとしている。	指導事項 ・探究したいテーマを見つける ・一人1台端末や書籍など利用し必要な情報を収集する ・収集した情報をプレゼンテーション用ソフトでまとめる 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・自らが設定したテーマについて一人1台端末を使用したり、書籍などを利用したりして必要な情報を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思考を巡らせ、探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組む自己理解を深めることができる。	○	○	○	9
合計							39